

年頭のご挨拶



日立労働基準監督署
署長 高野 光幸

新年おめでとございます。
旧年中は協会員の皆さんには、多大なご協力を頂きまして大変有難うございました。
また、協会が各種講習会等を数多く開催し、安全衛生や労働条件の向上に尽力されていることに大変敬意を表します。
旧年を省みますと、管内では十二月中旬の時点で七名の方が亡くなり、この上なく残念で痛ましいことでした。
建設業で三人、製造業で二人、運送業で一人、他一人でした。
その多くは、危険性は十分予想できたものであり、対策も十分可能なものであったにも関わらず、安全作業が実現できなかったもので、とりわけ残念です。
一方、労働条件関係では、解雇、賃金不払、長時間労働、不払残業等が主要な問題となっております。
統計の労働時間は、全産業及びパートタイマーをも平均していますので、長期的に短縮の傾向ですが、個別には非常な長時間労働も少なからず見られます。
長時間労働は心身に害をもたらしますので、経営者の皆さんには是非とも改善をお願い致します。
当署においても、労災補償の迅速な給付とも併せ、社会のニーズにできるだけ適切に応えるよう尽力する所存です。
景気が上向きつつあるとはいえ、根本的には引き続き大変厳しい環境にあるものと思います。
皆様のご発展を、心よりお祈り申し上げます。

謹賀新年

日立労働基準監督署

職員一同

平成16年度 日立地区安全衛生大会を開催



9月7日(土)日立労働会館において、日立労働基準監督署との共催で経営者や安全衛生関係者等215名の参加を得て、日立地区安全衛生大会を開催しました。大会は、坪和副会長の開会のことばで始まり、職員副会長並びに高野署長の主催者挨拶があり、引き続き日立労働会館において、安全衛生優良事業場賞と功績賞の表彰が行われ、協会長より表彰状と記念品が授与されました。

事例発表 鈴木清貴氏

続いて、日立労働基準監督署の山口第3方面主任監督官より、全国労働衛生週間実施要綱等の説明、小休止後、事例発表として、今大会で功績賞を受賞された(株)武蔵野化学研究所磯原工場安全管理室長の鈴木清貴氏から、「小集団による安全活動」と題し、安全衛生推進員制度、モシモ・ヒヤリカード提出運動、改善提案・トラブル報告制度など、災害のない快適な職場づくり、健康増進活動などに取り組みておられる報告がありました。
特別講演は、「災害現場から学ぶセルフディフェンス」と題し、防災アドバイザーの山村武彦氏から講演をいただきました。
防災・危機管理の要点について、阪神・淡路大震災の事例等多数のスライドを用いた説明で、危険予知活動や安全衛生活動にも役立つ有意義なお話でありました。
大会は最後に「大会宣言」を満場一致で採択し、平口常任理事の閉会のことばをもって盛会裡に閉幕しました。

2月・3月

講習会 教育計画

	講習会名	開催日	申込締切日	実技会場
技 能 講 義	玉掛け	2/3～5	1/20	(株)日立製作所 日立事業所
	ガス溶接	2/18～19	2/4	〃
	有機溶剤作業主任者	2/9～10	1/26	
特 別 教 育	研削といし	2/24～25	2/10	(社)日立労働基準協会
講 習 会	職長教育	3/2～3	2/16	

学科の会場は全種目 (社)日立労働基準協会教室 です。